

ウッド高等部



自分の夢や目標に向かって
真剣に音楽に向き合える場所

作曲本科
びんぐし の の か
鬢櫛 希架さん

小学生の時から歌手になりたいという夢を持っていた鬢櫛さん。「歌手になるために専門的に音楽を学びたい」という思いから、全日制高校ではなくウッド高等部に入学を決めました。音楽を専門的に学ぶ中で、自分に足りないものや身に付けたいことを明確にすることができたそうです。そんな鬢櫛さんに入学するまでの経緯や入学後の様子などをお聞きました。

あこがれに近づくため 音楽を専門的に学ぶために選んだ学校

小学生の時に、あるアーティストのライブを見て歌手になりたいという夢ができました。そのアーティストは歌唱力やパフォーマンスがいいだけでなく、歌声でいろいろな思いを届けてくれるところに圧倒され、私もそんな歌手になりたいと思うようになりました。

中学では、もともと習っていたピアノを続けながら、新しく独学でギターをやり始めました。初めて触るギターは、コードなど全くわかりませんでした。そんなこともあり、中学3年の進学先を探すタイミングで、親に音楽を専門的に学べる学校に行きたいと話し、学校探しをしていきました。

学校選びをする際に特に重視したところは、音楽に触れられる時間が多いところと通いやすさです。いくつか自分で学校を絞り、学校見学にも行きました。その中でウッド高等部は、学校での授業がすべて音楽について学べ、高校卒業のための勉強も自分で調整できるところに惹かれました。また、地元の山梨県からの通いやすさも学校を選ぶ上で大切でした。ウッド高等部は交通の便がいい新宿にあり、授業も11時から始まります。ここでなら頑張れそうだなと思い、ウッド高等部に決めました。

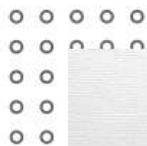
学びたいことや苦手克服など 自由に学べる授業

ウッド高等部は、ヴォーカルやギター、シンガーソングライター、作曲など7つのコースから選ぶことができ、さらに基本科、本科、研究科とレベル別に分かれています。基本科は初心者でも基礎からしっかりと技術や知識を学べて、本科はすこし音楽経験のある人向けの授業を行っています。そして研究科は、本科のカリキュラムを終了した生徒のみ入ることができ、ハイレベルなテクニックや知識が学べます。カリキュラムは一年間で修了し、次年度は次のレベルの科に進むか、デビューや自分の目的に合わせた進路選択をする形になっています。

私は、音楽の総合的な力を身につけたいと思い、一年目にシンガーソングライター本科を選びました。授業は、大きく分けて3つに分かれていて、コースごとに決められた音楽の知識や技術が身につく必修科目と、必修科目から一歩踏み込んだ内容の選択科目、そしてプロの先生とマンツーマンで行う個人レッスンです。どの授業も一コマ大体50分位で、選択科目では、コース関係なく自分の興味のある授業を取ることができます。

二年目になり、私は作曲本科に移りました。シンガーソングライター本科で学んでいく中で作曲の知識のなさを実感し、音楽理論など知識面をよりしっ





「分からないところは何でも立川先生に聞けます」と話す鬘柳さん

かり身につけながら学ぶことに力を入れたかったからです。今は、クラシカルな曲からポップスまで作曲に必要な知識を学んだり、パソコンを使用して音楽を作成・編集ができるソフトを使用し、実際に曲を作ったりして、自分に必要だと思う授業を取っています。ウッド高等部は学年制ではないため、一年目に理解できていなかったと感じた科目も、二年目にもう一度取れるので、そこでやっと身につけられたこともありました。

そして個人レッスンでは、オリジナル曲を作っています。ポップス曲を先生に教わりながらメロディーを考えたり、これまで学んだ知識をアウトプットできる機会となっています。

やりたいことや好きなことをやった方が自分の経験として身につく

この2年間を振り返ってみると、地元の同級生とは違う進路を選んだことで、全日制の行事などに少しうらやましいという気持ちもありました。しかし「好きなことを学びたい」と自分で選んだことだから

こそ、ここまで続けてこれたと思います。

また、ウッド高等部に入り知識が身についたことはもちろんですが、ギターを弾けるようになりました。授業の中でギターの技術をしっかりと学び、たまに左手の抑える指が痛くなったりするのが大変ですが、弾けるようになってうれしいです。

来年の進路については、研究科に進むのか、デビューもしくは、個人でこれまで学んできたことを表現していくことに挑戦するのはまだ考え中です。とりあえず今作っているオリジナル曲を完成させることに力を入れていきたいです。

一般的に中学校から高校に通い、その後大学に行ったり、就職したりという流れがあると思います。しかし周りと同じだからという理由で一般的な流れに沿わなければならないという風に思わず、自分のやりたいことや好きな道に進んだ方が、仮にその後の仕事につながりなくても、自分の経験として身につくと思います。通信制高校などを利用して若いうちにしかできないことにチャレンジすることも一つの選択肢だと私は思います。



パソコンを使用して、作曲・DTMの技術を学びます

ウッド高等部

School Data ウッド高等部

アーティストやアイドル・声優・ポカロPなどを目指しながら高校を卒業できる、通信制高校と音楽専門学校の融合型教育です。多くのデビュー者を育ててきた実績抜群の music school ウッドとタイケン学園の協力により生まれました。ほかの音楽学校よりもリーズナブルな授業料で、充実した指導を行っています。みなさんの『遊びじゃない、本気で学びたい!』に応えるのがウッド高等部です。音楽経験がなくても基礎から着実なステップアップが図れます。



▶ 詳しい情報は P488